



2021年(令和3年)の 病院医学誌の発行に当たり

済生会滋賀県病院 院長 三木 恒治

済生会滋賀県病院医学誌第30巻を発行するにあたり、一言ご挨拶を述べさせていただきます。

2020年は新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより大変な年となりました。当院でも滋賀県の第2種感染症指定病院として、中等症～重症の患者さんの対応に日々追われる日が続きました。現在は第3波も終息しつつあり、ようやく落ち着きを取り戻しつつあります。

さて2020年度の当院の医学誌の掲載論文として原著2編、症例報告4編、看護研究3編、総説1編の計10編の論文を掲載しております。このうちCOVID-19対策チーム東海弓恵看護師の『当院における新型コロナウイルス感染症対策』と、救急集中治療科 瀬越由佳先生の『ファビピラビル単独投与が無効であったCoronavirus disease 2019(COVID-19)患者に対しステロイド併用療法及びトシリズマブ追加投与が有効であった1例』の2編が奨励論文賞に決定しました。ほかの原著1編、症例報告3編、看護研究、総説も充実した内容であり、ご一読いただき、ご意見、ご教示等いただけましたら幸甚に存じます。